

北陸経済調査

〔管内経済の概況〕

北陸財務局管内(石川県、富山県、福井県)の
最近の経済動向をみると、緩やかに持ち直している。

※前回3月判断を据置き(令和6年11月以降、6か月連続の据置き)

(総括判断のポイント)

個人消費は、百貨店・スーパー販売が緩やかに回復しつつあるほか、ドラッグストア販売が拡大していることなどから、全体では「緩やかに回復しつつある」。生産は、化学が緩やかに回復しているものの、電子部品・デバイスや生産用機械等が弱含んでいることなどから、全体では「持ち直しに向けた動きに一服感がみられる」。雇用情勢は、「緩やかに持ち直している」。

【先行き】

○ 雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな持ち直しが続くことが期待される。ただし、物価上昇やアメリカの政策動向、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

【総括判断】

項目	令和7年3月	令和7年4月	前回との比較
総括判断	緩やかに持ち直している。	緩やかに持ち直している。	→

【主要項目の判断】

項目	令和7年3月	令和7年4月	前回との比較
個人消費	緩やかに回復しつつある。	緩やかに回復しつつある。	→
住宅建設	緩やかに持ち直しつつある。	緩やかに持ち直しつつある。	→
生産	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。	→
雇用情勢	緩やかに持ち直している。	緩やかに持ち直している。	→

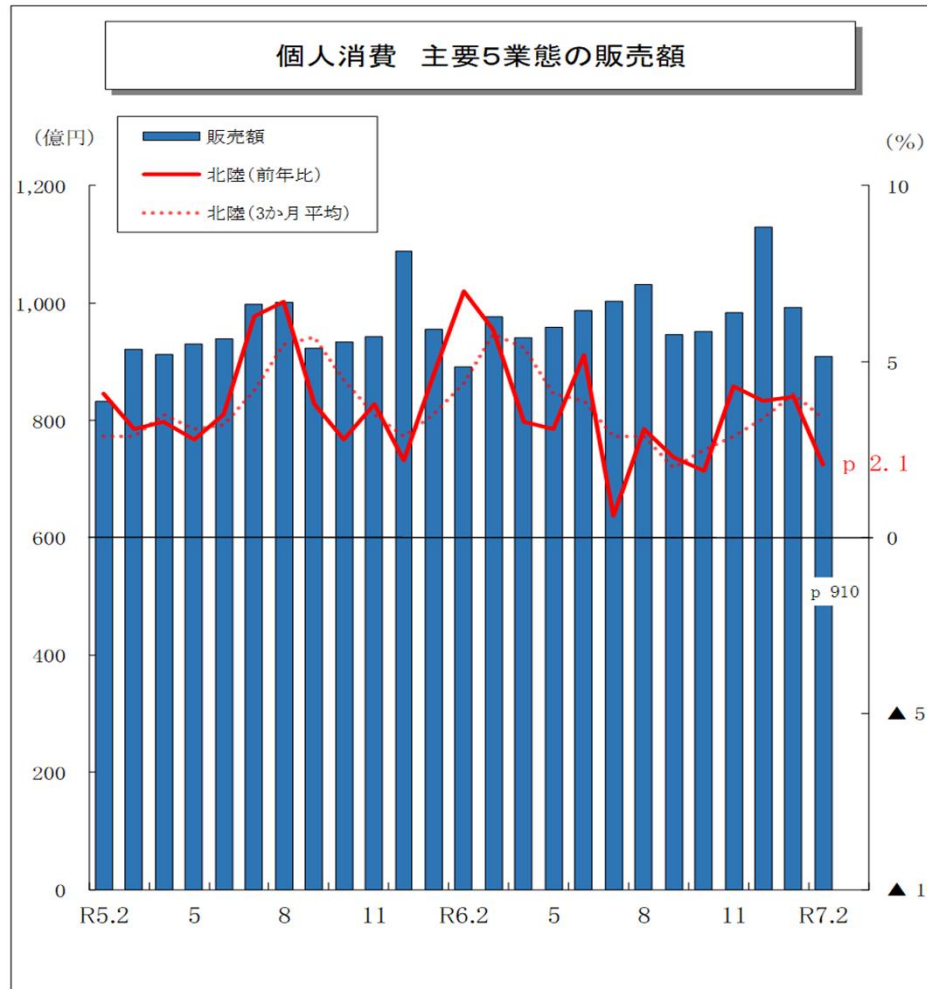
令和7年4月
財務省 北陸財務局

お問合せ先
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL (076) 292-7858

1. 個人消費 … 緩やかに回復しつつある

※ 前回3月判断を据置き(令和6年11月以降、6か月連続の据置き)

百貨店・スーパー販売が緩やかに回復しつつあるほか、ドラッグストア販売が拡大していることなどから、全体では緩やかに回復しつつある。



業 態	判 断	前回との比較
百 貨 店 ・ ス ー パ ー	緩やかに回復しつつある	➡
コンビニエンスストア	堅調となっている	➡
ド ラ ッ グ ス ト ア	拡大している	➡
ホ ー ム セ ン タ ー	弱含んでいる	➡
家 電 大 型 専 門 店	持ち直しの動きに一服感がみられる	↘
新 車 販 売	緩やかに持ち直しつつある	➡

(注1) 主要5業態は、各業態(百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、家電大型専門店)の販売額を合計したもの。

(注2) 3か月平均は当局試算。

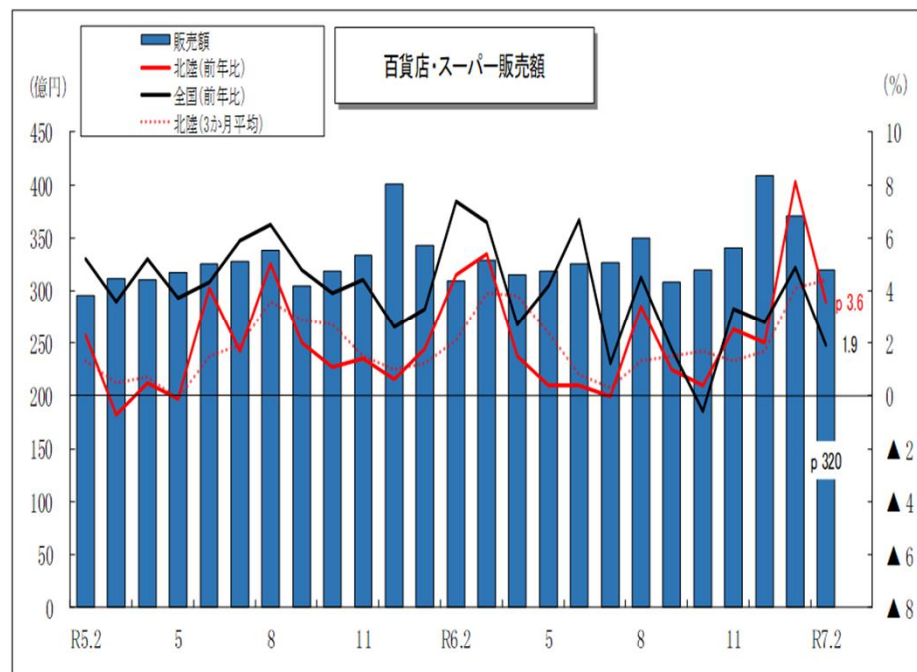
(資料) 経済産業省、中部経済産業局、北陸財務局

(1) 百貨店・スーパー販売

2月の百貨店・スーパー販売は、

- ・百貨店では、衣料品等の動きが鈍いことから、前年を下回っている。
- ・スーパーでは飲食料品に動きがみられることから、前年を上回っている。

以上のような状況を踏まえると、緩やかに回復しつつある。



(主なヒアリング結果)

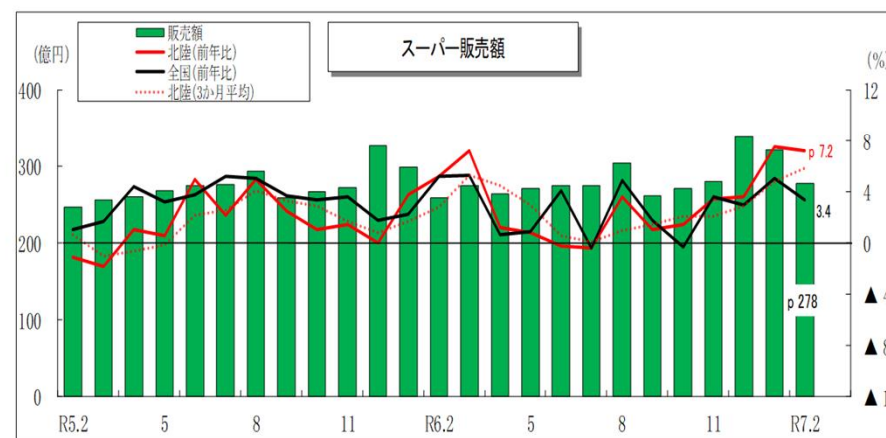
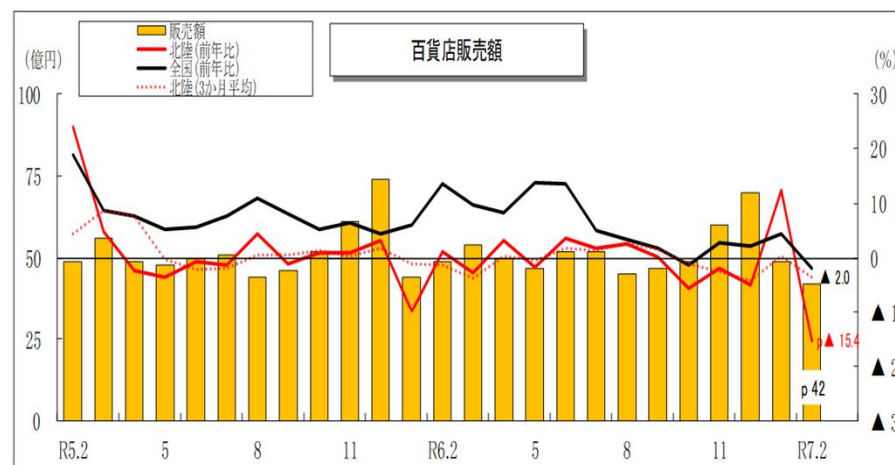
➢2月は大雪により苦戦したが、3月は催事や高額品が牽引し好調。前年も上回る見込み。(百貨店)

➢大雪により客数が減少し、春物衣料を中心に動きが鈍かったものの、3月は催事が好調に推移し、来店客数も増えた。(百貨店)

➢ 2月は大雪により客足が鈍かったものの、野菜や米の価格高騰により売上げや客単価は上昇した。(スーパー)

➢物価高により、衣料品への節約志向は感じるが、食料品は生活必需品ということもあり、買い控えはみられない。4月以降、値上がりする商品が増えたため、消費者がより安さを求めてドラッグストアなどに流れないか懸念している。(スーパー)

※前回3月判断を据置き(令和6年11月以降、6か月連続の据置き)



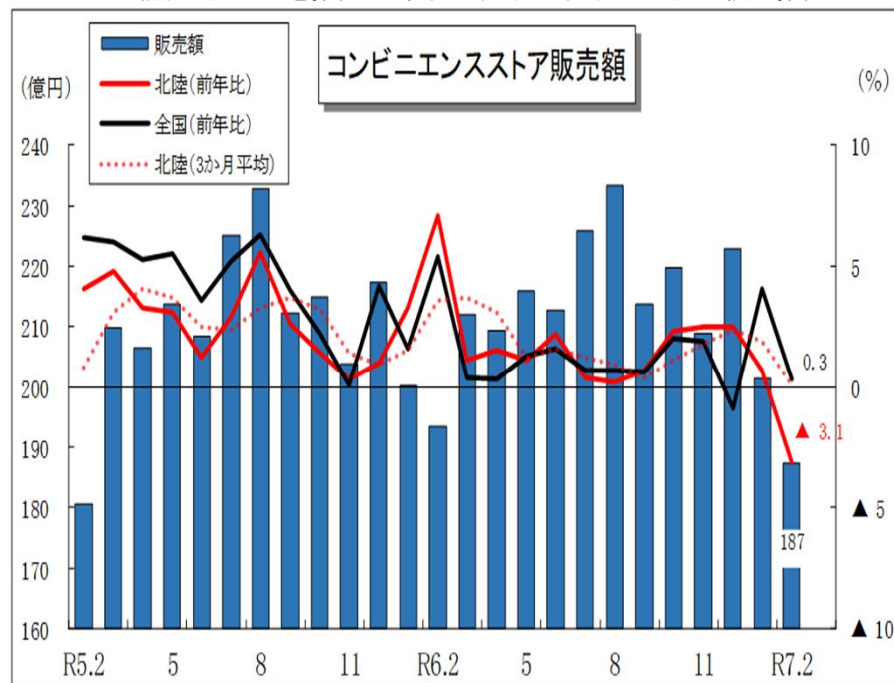
(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局

(2) コンビニエンスストア販売等

①コンビニエンスストア販売は、飲料等に動きがみられることから、堅調となっている。

※前回3月判断を据置き(令和4年8月以降、33か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

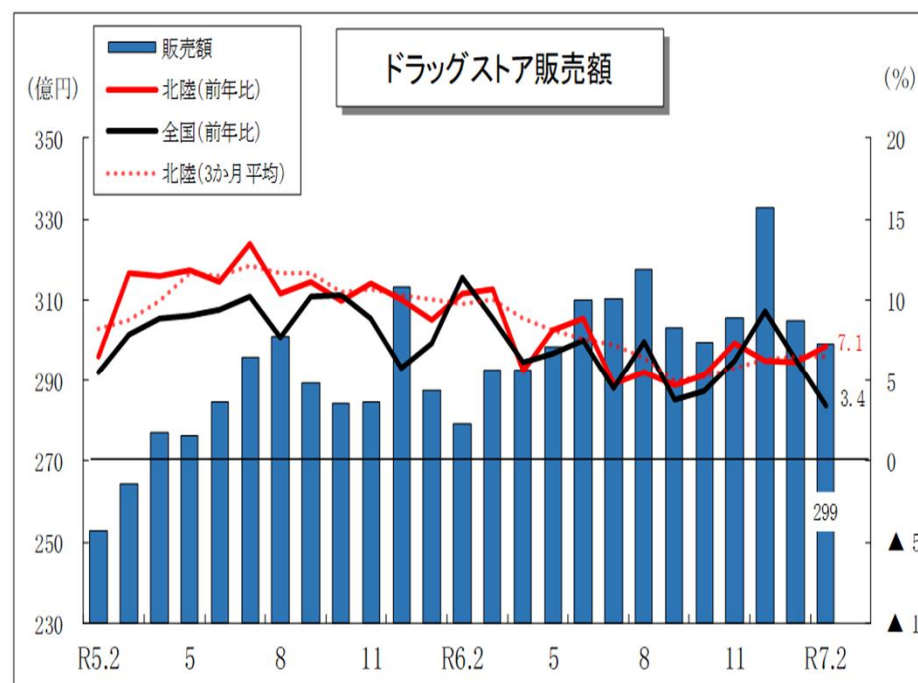
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 2月は大雪の影響で客数が減少した。
- 例年よりも気温が低く、ホット飲料やカウンターフーズが好調に推移した。
- 2月は大雪に加えて、昨年みられた被災地支援者の来客がなく苦戦したが、足下では気温の上昇により客足が戻っており、飲料等が好調に推移している。

②ドラッグストア販売は、飲食料品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、拡大している。

※前回3月判断を据置き(令和5年11月以降、18か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

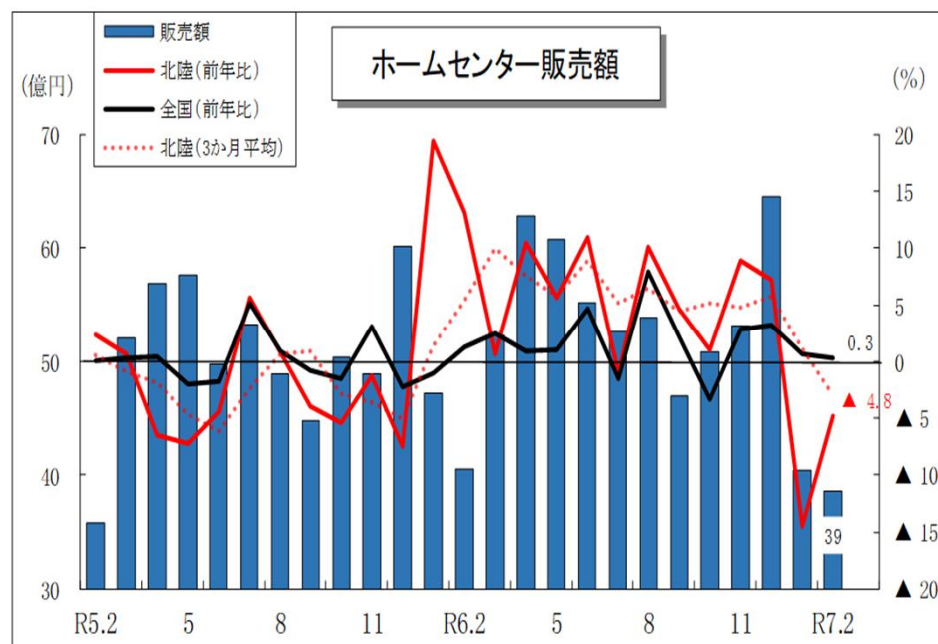
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 青果や米は、スーパーよりも価格を抑えており好調に推移している。特に、米は数量ベースで2割増となっており、スーパーから顧客を奪っている。
- 例年よりも気温が低く、リップケア商品やハンドクリームが良く売れた。

③**ホームセンター販売**は、DIY用品や日用品の動きが鈍いことなどから、弱含んでいる。

※前回3月判断を据置き



（注）3か月平均は当局試算。

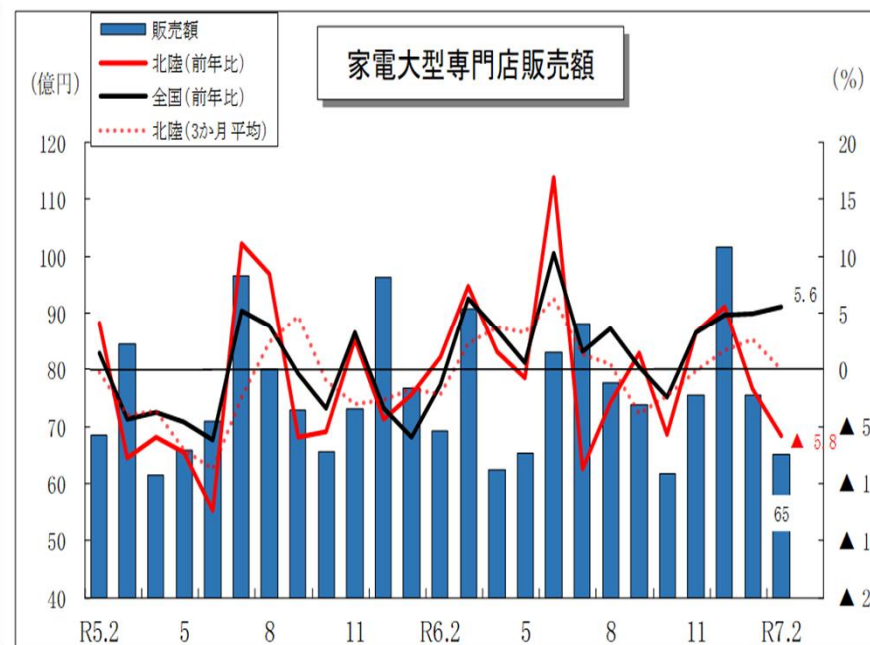
（資料）経済産業省、北陸財務局

（主なヒアリング結果）

- 被災家屋の修復用の工具等に落ち着きがみられる。
- 2月は大雪により除雪用品に動きがみられたが、客数減により売上げが伸び悩んだ。
- 3月以降は、例年よりも気温が高く、園芸用品が動いている。

④**家電大型専門店販売**は、白物家電の動きが鈍いことから、持ち直しの動きに一服感がみられる。

※前回3月判断（「持ち直しの動きがみられる」）を下方修正
（令和5年11月以来、17か月ぶりの下方修正）



（注）3か月平均は当局試算。

（資料）経済産業省、北陸財務局

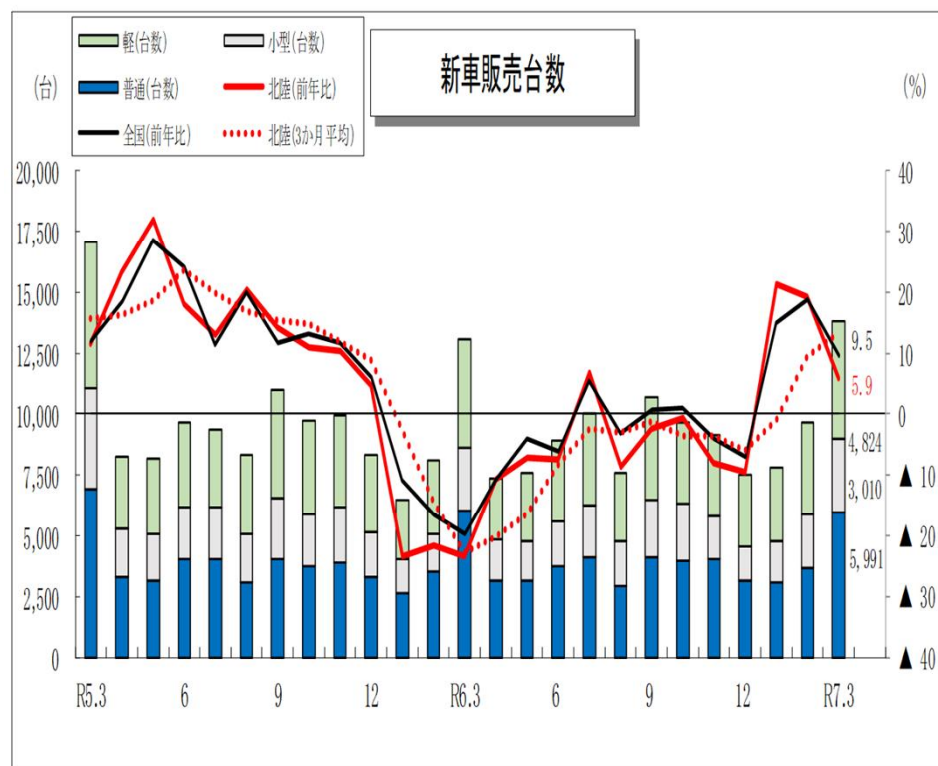
（主なヒアリング結果）

- 2月は大雪の影響で客数が減少した。
- 昨年あった被災による家電の買い替え需要がなく、引き続き白物家電の動きが鈍い。
- 物価高で、新生活需要についても、割安感のある海外メーカーのセット売り商品を選ぶ人が多い。

(3) 新車販売

3月の新車販売台数は、前年を上回っており、緩やかに持ち直しつつある。

※前回3月判断を据置き



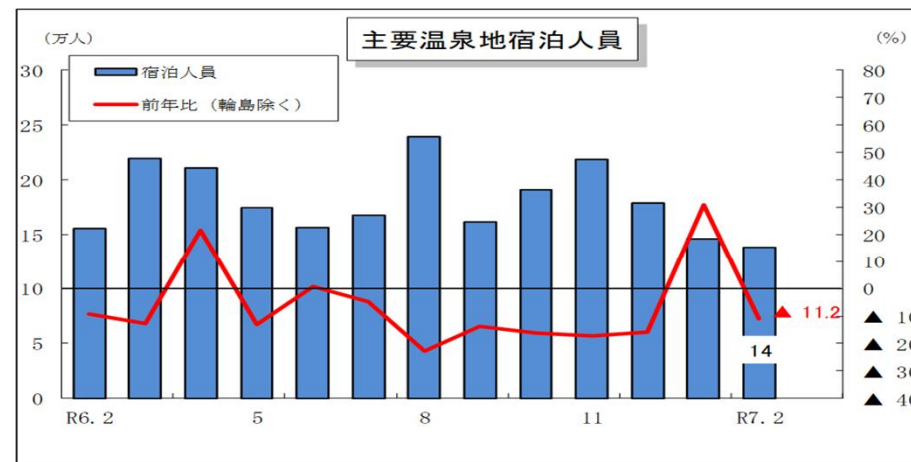
(資料) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 認証不正問題等の解消や法規制対応の終了に伴い、受注の再開や販売の正常化が進んでいる。
- 軽乗用車の人気車種で、久しぶりに新型が発売される予定であり、今後も期待できる。
- 部品メーカーの工場事故により、自動車メーカーの一部工場も稼働停止となり、納車に遅れがみられる車種があるが、大きな影響はないと見込んでいる。

(4) 観光・旅行関連

① 2月の主要温泉地(輪島除く)の宿泊客数は、前年を下回っている。



(資料) 北陸観光協会

(主なヒアリング結果)

- 大雪の影響でキャンセルが発生し、特に平日は厳しい状況だったが、3月以降は平日、休日ともに予約は順調。(福井)
- 昨年あった二次避難者の受入れがないため、今年は昨年を下回った。(加賀)

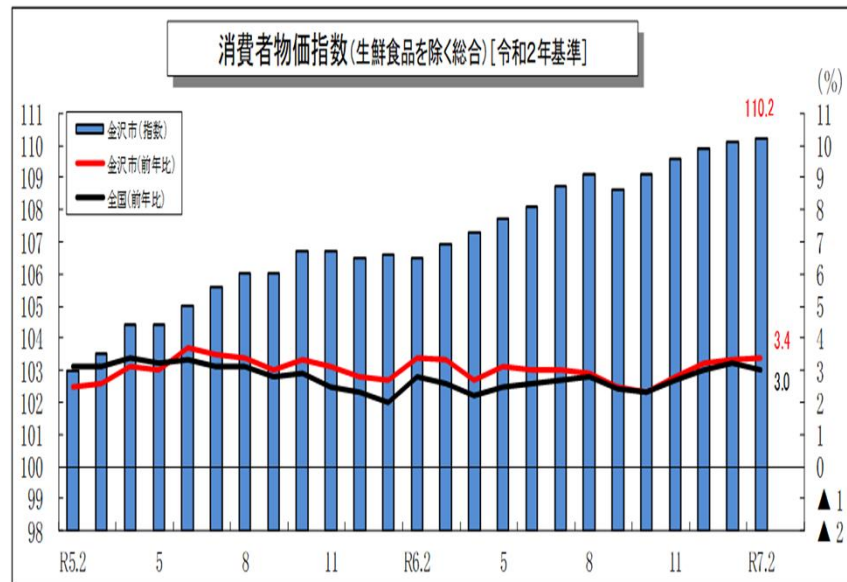
② 主要観光地の入込客数(3月)は、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 富山や石川県内からの来場者が増えている。2年ぶりに開催される5月の青柏祭にも期待している。(能登)
- 春休みシーズンということもあって好調に推移しており、前年を上回る見込み。(富山)
- 足下では桜を目標とした観光客がインバウンドも含めて多く訪れており、順調に推移している。(金沢)

（消費者物価）

2月の消費者物価（金沢市、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている。

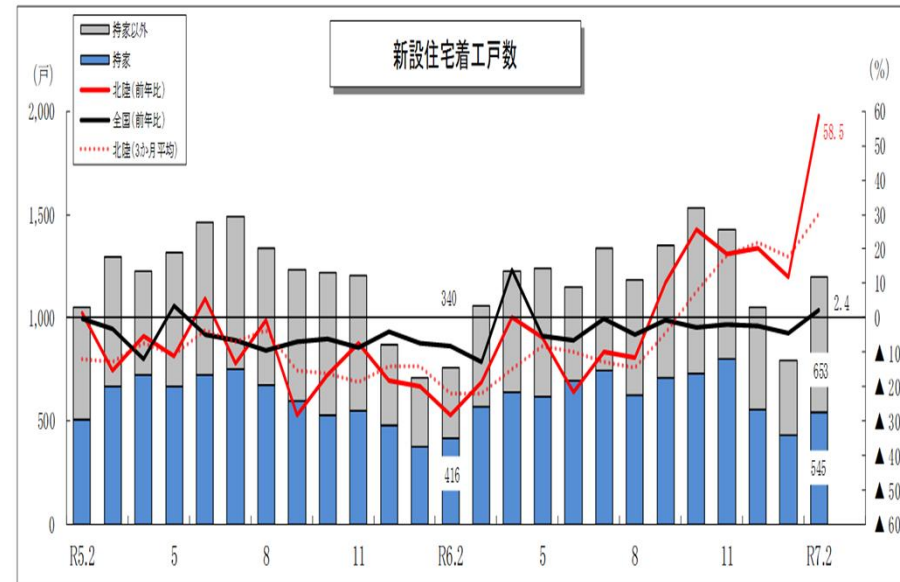


（資料）総務省

2. 住宅建設 … 緩やかに持ち直しつつある

2月の新設住宅着工戸数などを踏まえると、緩やかに持ち直しつつある。

※前回3月判断を据置き（令和7年2月以降、3か月連続の据置き）



（注）3か月平均は当局試算。

（資料）国土交通省、北陸財務局

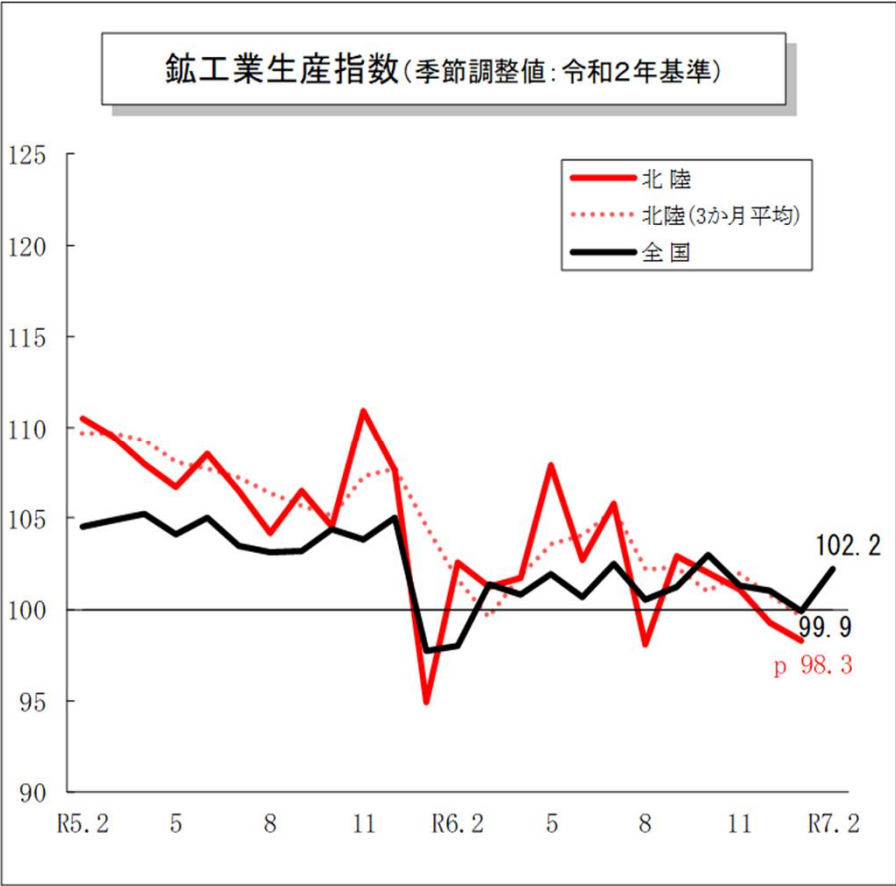
（主なヒアリング結果）

- 被災者による新築需要によって、夏ごろまで着工が続く見込み。
- 4月から、資材価格や人件費の高騰、建築基準法改正による手続コストの増加により値上げ予定のため、1、2月に駆け込み需要がみられた。

3. 生産 … 持ち直しに向けた動きに一服感がみられる

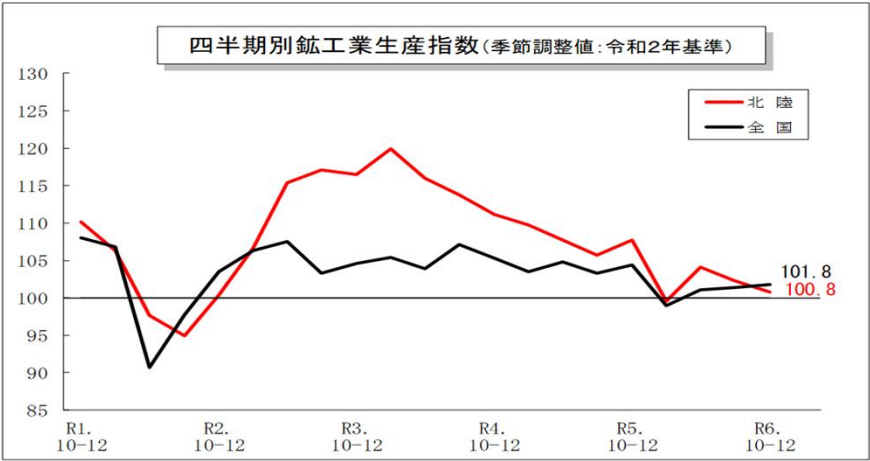
※ 前回3月判断を据置き(令和7年2月以降、3か月連続の据置き)

化学が緩やかに回復しているものの、電子部品・デバイスや生産用機械等が弱含んでいることなどから、全体では持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。



(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局



業 種	判 断	前回との比較
化 学	緩やかに回復している	➡
電子部品・デバイス	弱含んでいる	➡
生 産 用 機 械	弱含んでいる	➡
金 属 製 品	弱含んでいる	➡
織 維	緩やかに持ち直しつつある	➡

業種別にみると、

(1) 化学は、大宗を占める医薬品で、緩やかに回復している。

※前回3月判断を据置き(令和6年11月以降、6か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

➢ジェネリック医薬品の不足を背景に注文が殺到しており、生産ラインをフル稼働させている。
➢ジェネリック医薬品の需要が高まっているため、高水準の生産となっている。なお、輸出はほぼ無いが、原料は輸入が多いため、米国関税措置の影響により為替変動があれば影響を受ける。

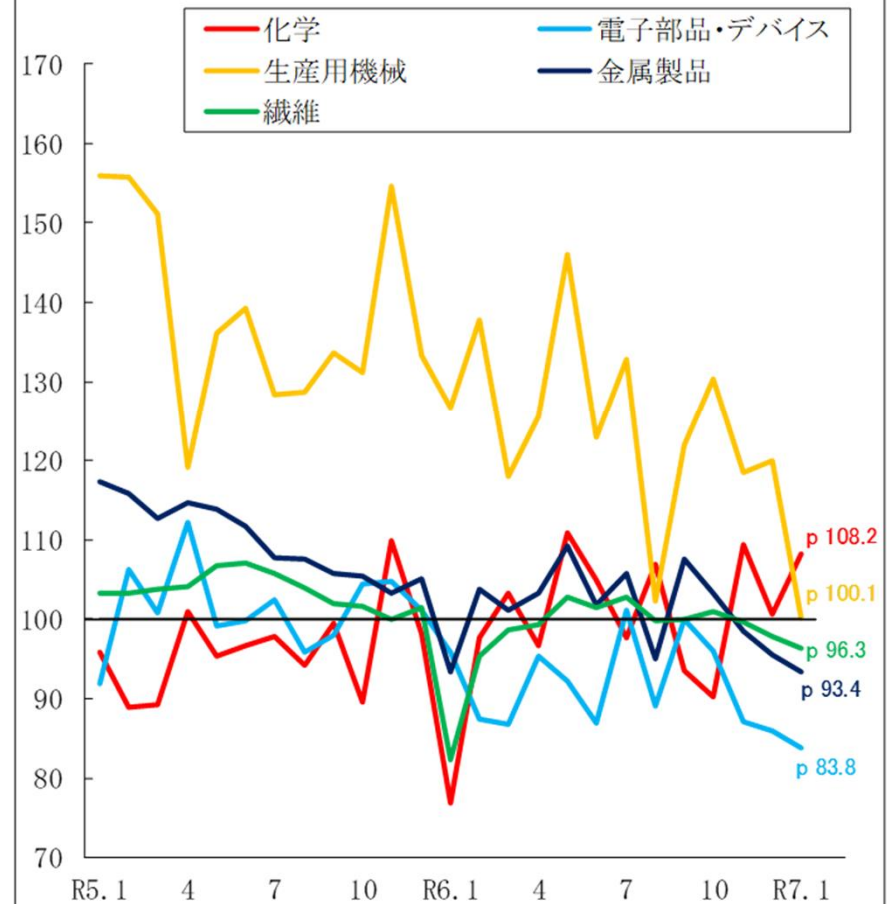
(2) 電子部品・デバイスは、スマートフォン向けや自動車向けで持ち直しに向けた動きに一服感がみられるほか、家電向けが弱まっていることなどから、全体では弱含んでいる。

※前回3月判断を据置き(令和7年2月以降、3か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

➢スマホ向けは、中華圏メーカー向けは引き続き低調だが、北米メーカー向けは例年通りの動きとなっている。関税により、取引先からの値下げ圧力が強まることを懸念。
➢自動車向けは、欧州を中心に自動車の販売不振が続いており、計画を下回った生産状況が続いている。
➢家電向けは、中国メーカーからエアコン向けの注文が僅かに出てきたものの、先行きは不透明。

主要業種の単月生産指数(季節調整値: 令和2年基準)



(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

(3) **生産用機械**は、繊維機械が緩やかに持ち直しつつあるものの、半導体製造装置で持ち直しの動きに一服感がみられるほか、金属加工機械が弱含んでいることなどから、全体では弱含んでいる。

※前回3月判断を据置き(令和6年11月以降、6か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- 半導体製造装置は、スマホやPCの販売が伸び悩んでいることから、需要の回復が想定よりも遅れている。
- 金属加工機械は、欧州や国内の設備投資が鈍く、振るわない。加えて、関税により、米国の取引先の投資意欲が減退し、受注が減少しないか心配。
- 金属加工機械は、自動車関連企業の投資マインドが低下し、受注が減少することを懸念。

(4) **金属製品**は、大宗を占めるアルミ建材で、ビル用に持ち直しの動きがみられるものの、住宅用が減少していることから、全体では弱含んでいる。

※前回3月判断を据置き

(主なヒアリング結果)

- 住宅用は、複合サッシや樹脂サッシへのシフトが進み、アルミサッシの市場が縮小しているほか、リフォーム需要についても勢いが無い。
- ビル用は、首都圏の開発案件の受注が安定しているほか、地方都市でも一定の受注を確保している。

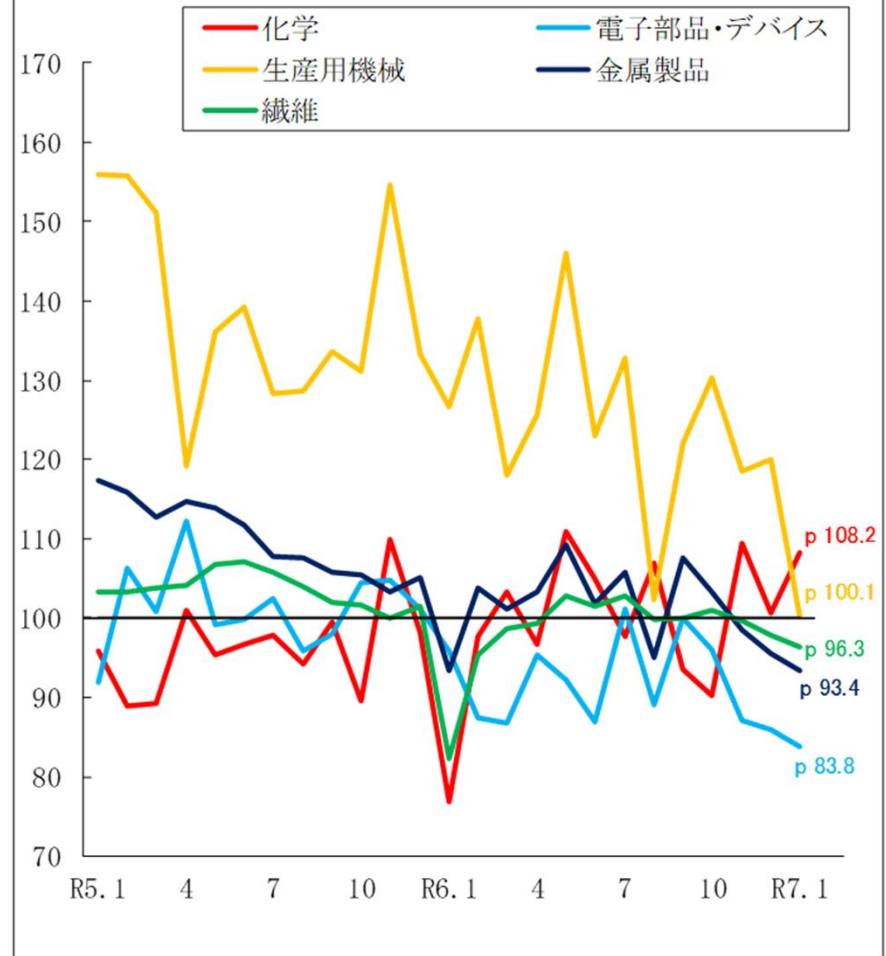
(5) **繊維**は、衣料向けが弱含んでいるものの、非衣料向けが持ち直しつつあることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。

※前回3月判断を据置き(令和6年6月以降、11か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- 物価高の中、家計で衣類への支出が削られてきていることを背景に、アパレルからの受注が減少傾向にある。
- 車輛資材は、自動車メーカーの認証不正問題の影響がなくなったこともあり、受注は安定している。ただし、関税により自動車産業が厳しくなれば、繊維業界も受注減や値下げ要求などで影響が大きい。

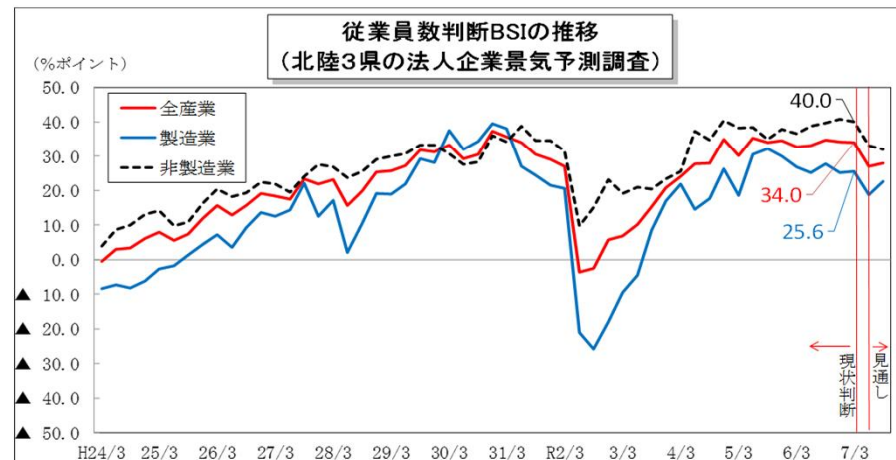
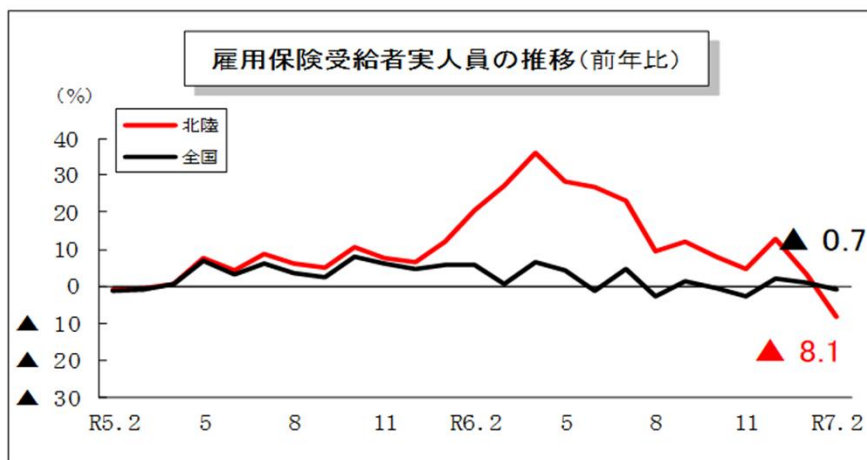
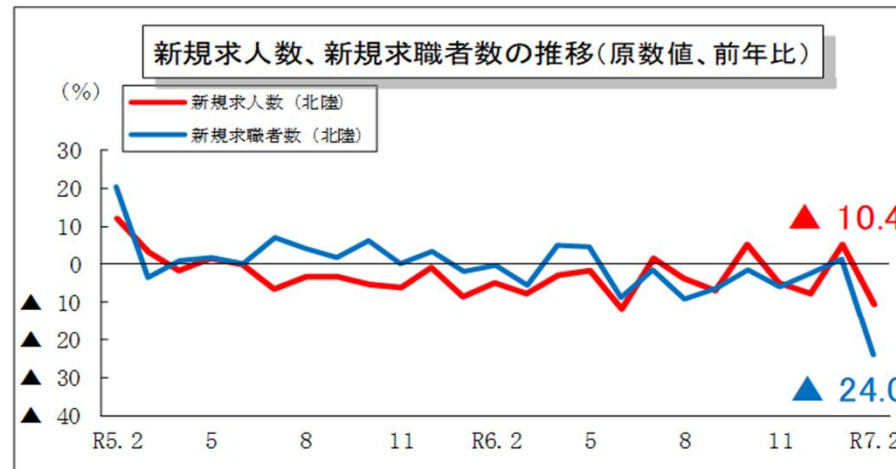
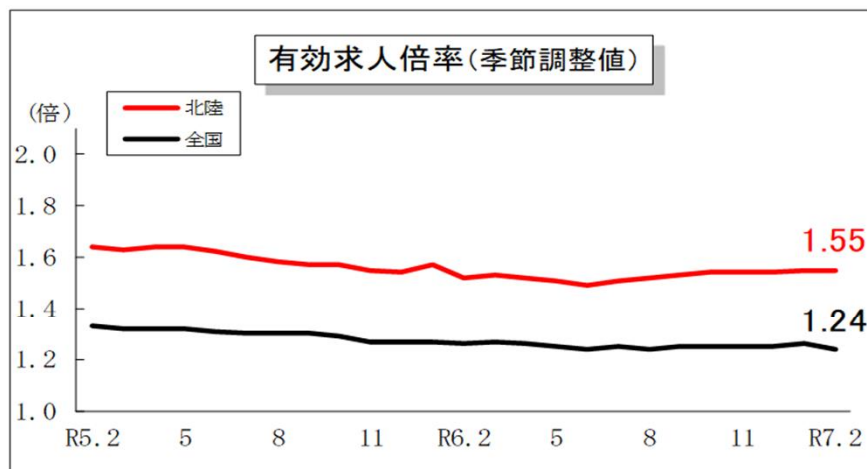
主要業種の単月生産指数(季節調整値:令和2年基準)



(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

4. 雇用情勢 … 緩やかに持ち直している

2月の有効求人倍率は、横ばいとなっている。
新規求人数、新規求職者数ともに前年を下回っている。
雇用保険受給者実人員は、前年を下回っている。



(注1) 従業員数判断BSI = 「不足気味」回答社数構成比 - 「過剰気味」回答社数構成比。

(注2) 最新の現状判断は、令和7年3月末時点。

(資料) 厚生労働省、各県労働局、北陸財務局 10

■主要経済指標 (1)【次ページに注記等あり】

	項目			R6年12月	R7年1月	R7年2月	R7年3月	資 料 出 所	備考
個人消費	百貨店・スーパー販売額	全国	億円	23,480	19,159	17,306	...	経 済 産 業 省	-
			前年比	2.8	4.9	1.9	...		
		北陸	百万円	40,855	37,078	p 31,976	...	中部経済産業局	
			前年比	2.0	8.1	p 3.6	...		
	コンビニエンスストア販売額	全国	億円	11,372	10,496	9,802	...	経 済 産 業 省	-
			前年比	▲ 0.9	4.1	0.3	...		
		北陸	百万円	22,294	20,149	18,734	...	(北陸財務局)	
			前年比	2.5	0.7	▲ 3.1	...		
	ドラッグストア販売額	全国	億円	8,461	7,396	7,047	...	経 済 産 業 省	-
			前年比	9.3	6.3	3.4	...		
		北陸	百万円	33,260	30,498	29,914	...	(北陸財務局)	
			前年比	6.2	6.1	7.1	...		
	ホームセンター販売額	全国	億円	3,428	2,458	2,286	...	経 済 産 業 省	-
			前年比	3.2	0.6	0.3	...		
		北陸	百万円	6,456	4,042	3,857	...	(北陸財務局)	
			前年比	7.2	▲ 14.5	▲ 4.8	...		
	家電大型専門店販売額	全国	億円	4,905	4,138	3,616	...	経 済 産 業 省	-
			前年比	4.8	5.0	5.6	...		
		北陸	百万円	10,168	7,541	6,517	...	(北陸財務局)	
			前年比	5.5	▲ 1.7	▲ 5.8	...		
物価	消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合)	全国 (R2=100)	指数	109.6	109.8	109.7	...	総 務 省	-
			前年比	3.0	3.2	3.0	...		
		金沢市 (R2=100)	指数	109.9	110.1	110.2	...		
			前年比	3.2	3.3	3.4	...		
住宅着工	新設住宅着工戸数	全国	戸	62,957	56,134	60,583	...	国 土 交 通 省	-
			前年比	▲ 2.5	▲ 4.6	2.4	...		
		北陸	戸	1,049	792	1,198	...	(北陸財務局)	
			前年比	20.2	12.0	58.5	...		
生産	鉱工業生産指数 (季節調整値)	全国 (R2=100)	(10,000)	101.0	99.9	102.2	...	経 済 産 業 省	-
			前月比	▲ 0.3	▲ 1.1	2.3	...		
		北陸 (R2=100)	(10,000)	99.3	p 98.3	...	...	中部経済産業局	・鉱工業生産指数・北陸の業種別の(カッコ内)は、基準年の構成比。
			前月比	▲ 1.8	p ▲ 1.0	...	...		
		化学	(1,540.5)	100.6	p 108.2	...	...		
			前月比	▲ 8.0	p 7.6	...	...		
		電子部品・デバイス	(1,401.6)	85.9	p 83.8	...	...		
			前月比	▲ 1.4	p ▲ 2.4	...	...		
		生産用機械	(1,233.3)	119.9	p 100.1	...	...		
			前月比	1.3	p ▲ 16.5	...	...		
		金属製品	(905.8)	95.5	p 93.4	...	...		
			前月比	▲ 3.0	p ▲ 2.2	...	...		
		繊維	(579.9)	97.9	p 96.3	...	...		
			前月比	▲ 1.8	p ▲ 1.6	...	...		

■主要経済指標 (2)

	項目			R6年12月	R7年1月	R7年2月	R7年3月	資 料 出 所	備考
雇 用	有 効 求 人 倍 率 (季 節 調 整 値)	全国	倍	1.25	1.26	1.24	・・・	厚 生 労 働 省	・有効求人倍率の北陸は、当局において各県の有効求人数、有効求職者数を合算して試算している。
		北陸	倍	1.54	1.55	1.55	・・・	(北 陸 財 務 局)	
	新規求人数(原数値)	北陸	前年比	▲ 7.6	5.4	▲ 10.4	・・・	(北 陸 財 務 局)	-
	新規求職者数(原数値)	北陸	前年比	▲ 2.2	1.3	▲ 24.0	・・・	(北 陸 財 務 局)	
	雇用保険受給者実人員	全国	前年比	2.0	0.8	▲ 0.7	・・・	厚 生 労 働 省	-
		北陸	前年比	12.6	3.3	▲ 8.1	・・・	(北 陸 財 務 局)	
公 共 事 業	公 共 工 事 請 負 金 額	全国	億円	6,785	5,662	6,914	17,220	東日本建設業保証ほか	・公共工事請負金額は、東日本建設業保証、西日本建設業保証、北海道建設業信用保証の3社による公共工事前払金保証実績に基づくものである。
			前年比	▲ 5.7	▲ 1.3	▲ 22.5	6.0		
		北陸	億円	317	287	327	725	(北 陸 財 務 局)	
			前年比	95.4	62.9	85.0	57.6		
金 融	預 (末 残 金)	全国	億円	11,509,106	11,525,313	11,510,567	・・・	日 本 銀 行 信 金 中 央 金 庫	・預金の金額は表面預金。 ・単位未満は、金額については切捨てで表示している。 ・国内銀行及び信用金庫の合計で、整理回収機構、ゆうちょ銀行を含まない。 ・北陸は、北陸3県内に店舗を置く国内銀行の合計(3県内店舗分)及び北陸3県内に本店を置く信用金庫の合計。 ・国内銀行は、銀行勘定を集計したもの。ただし、オフショア勘定を含まない。また、中央政府向け貸出を除く。
			前年比	2.0	1.8	1.4	・・・		
		北陸	億円	218,063	215,825	215,615	・・・	(北 陸 財 務 局)	
			前年比	3.0	2.4	2.1	・・・		
	貸 (末 出 残 金)	全国	億円	6,938,975	6,951,300	6,950,169	・・・	日 本 銀 行 信 金 中 央 金 庫	
			前年比	3.8	3.9	3.6	・・・		
		北陸	億円	107,522	107,498	107,464	・・・	(北 陸 財 務 局)	
			前年比	0.8	1.1	1.2	・・・		
企 業 倒 産	企 業 倒 産 件 数	北陸	件	19	16	14	18	(株)東京商工リサーチ	・前年比については切捨てで表示している。
			前年比	18.7	60.0	▲ 30.0	0.0		
	負 債 総 額	北陸	百万円	10,055	1,550	1,421	6,846		
			前年比	253.1	25.1	41.2	229.2		

【注記】

- pは速報値である。季節調整等により、数値が改定される場合があるので、利用にあたっては可能な限り最新号によって下さい。
また、資料出所先において、最新の指標や改定値等の公表が行われている場合があるので、利用にあたってはご留意下さい。
- 「北陸」は、断りがない限り、石川、富山、福井の3県である。
- 各県分の資料のみ発表されているものを北陸3県分として集計等している場合は、資料出所欄に「(北陸財務局)」として表示している。
- 金額等の計数及び前年比は、断りがない限り、四捨五入で表示している。